4 月 6-12 日

イザヤ 50-51 章

88 番の歌と祈り | 開会の言葉（1 分）

神の言葉の宝

1. 神から教えられたイエスの声に耳を傾ける（10 分）

エホバは人間になる前のイエスを教えた。（イザ 50:4。国 182 ページ 5 節）

イエスは学ぶ意欲にあふれていた。（イザ 50:5。追 133 ページ 13 節）

エホバを畏れる人たちは，エホバに仕える者の声，つまりイエスの声に耳を傾ける。（イザ 50:10。ヨハ 10:27）

じっくり考えてみよう エホバから学ぶ意欲にあふれていたイエスにどう倣えるだろうか。（ペテ一 2:21 皆さんはこうした道に招かれました。キリストでさえ皆さんのために苦しみ，その歩みに皆さんがしっかり付いてくるよう手本を示しました。）

2. 宝石を探し出す（10 分）

イザ 51:1 正しく生きようとしている人たち， エホバに導きを求めている人たち， 私の言うことを聞きなさい。 自分たちが切り出された岩と， 掘り出された岩穴に目を向けなさい。

この聖句にはどんな意味があると思われるか。（洞「石切り場」3 節）

エホバは，イザヤの口によって，表現豊かな隠喩を用い，石切り場とそこでの作業過程を思い起こさせておられます。（イザ 51:1）続く節に示されているとおり，「**岩**」は，その国民の人間的源であった**アブラハム**を表わし，「**坑のくぼみ**」は**サラ**を表わしていたようです。坑に似たサラの胎はイスラエルの先祖イサクを産み出しました。（イザ 51:2）しかし，イサクの誕生は神の力による奇跡的な事柄でしたから，石切り場から切り出されるというこの隠喩には次元の高い霊的適用もあるかもしれません。例えば，申命記 32 章 18 節はエホバのことを，イスラエルの「父となった岩なる方」，『子を産む苦しみをもってあなたを産み出された[イザ 51:2 でサラに関して用いられているのと同じ動詞]方』と述べています。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

（***イザヤ 51:11*** エホバに救い出された人たちが帰ってくる。 歓声を上げながらシオンに来る。 いつまでも続く喜びが彼らの冠となる。 彼らは歓喜にあふれ， 悲しみやため息は逃げ去る。）

バビロンでいかに惨めな境遇に置かれようとも，エホバの義を求める人々には輝かしい見込みがあります。悲嘆と溜め息のなくなる時が来るのです。請け戻される者たち，つまり贖われる者たちの唇からは，歓呼の声，歓びや歓喜の声が上がります。この預言の言葉の現代における成就として，神のイスラエルは 1919 年にバビロン的な捕らわれから解き放たれました。彼らは大きな歓びを抱いて自分たちの霊的な地所に戻り，その歓びは今に至るまでずっと続いています。

3. 聖書朗読（4 分）イザ 50:1-11（教励 第 2 課）

野外奉仕に励む

4. 会話を始める

（3 分）日常生活で。記念式について同じ職場の人に話す。（愛込 レッスン 2 ポイント 4）

5. 再び話し合う

（4 分）家から家で。記念式に出席した人を次の集会に招待する。（愛込 レッスン 9 ポイント 4

6. 信じていることを説明する

（5 分）実演。イ聖 記事 140 4 節 話題: イエスを信じてさえいれば救われるのか。（愛込 レッスン 11 ポイント 5）

クリスチャンとして生活する

99 番の歌

7. 会衆の必要（15 分）

8. 会衆の聖書研究（30 分）大 セクション 12 の紹介，レッスン 74-75

閉会の言葉（3 分）| 13 番の歌と祈り

^ （イザ 50:1-51:23） エホバはこう言う。 「私が去らせたという，あなたたちの母親の離婚証書はどこにあるのか。 私がどの債権者にあなたたちを売ったというのか。 あなたたちは自分の過ちのために売られたのであり， 母親はあなたたちの違反のために追い出されたのだ。 2 私が来た時，誰もいなかったのはどうしてか。 私が呼んだ時，誰も答えなかったのはどうしてか。 私の腕は，救う*には短過ぎるというのか。 私には救い出す力がないというのか。 私は海を叱りつけて干上がらせ， 川を砂漠に変える。 水がないために魚は腐り， 乾き切って死ぬ。 3 私は天に暗闇をまとわせ， 粗布で覆う」。 4 主権者である主エホバは，私に話し方を教えて*くださった。 疲れた人に適切な言葉で答え*られるように。 神は毎朝，私を目覚めさせてくださり， 私が生徒のように耳を澄まして聞けるようにしてくださる。 5 主権者である主エホバが私の耳を開いてくださった。 私は反抗的ではなく， 背を向けることはなかった。 6 打ちたたく者たちに背中を差し出し， ひげを引き抜く者たちに頬を差し出した。 侮辱や唾から顔を覆い隠さなかった。 7 主権者である主エホバが私を助けてくださる。 そのため，私は屈辱を感じない。 そのため，私は顔を火打ち石のようにした。 恥をかくことはないと知っている。 8 私を正しいと認めてくださる方が近くにいる。 誰が私を訴えられる*だろうか。 裁きの場に共に立とう*。 私に対して訴訟を起こすのは誰か。 私に近寄るがいい。 9 主権者である主エホバが私を助けてくださる。 誰が私に有罪を宣告するのか。 彼らは皆，衣服のように擦り切れ， 蛾に食い尽くされる。 10 あなたたちのうち誰が，エホバを畏れて， その方に仕える者の声に耳を傾けているか。 誰が，光のない深い闇の中を歩んできたか。 その人はエホバの名に信頼を置き，自分の神に頼れ。 11 「火を付けて，火花を散らしている者たち， あなた方は皆，自分の火の光の中を， 自分が生じさせた火花の中を歩め。 あなた方は私の手により， ひどく苦しんで横たわることになる。